

ほっとHealth (日健セ) 通信

日立健康管理センタより 産業保健の話題をお届けします



2025
8月号

【带状疱疹について】

医務局：伊東 大輔

带状疱疹は、**水痘・带状疱疹ウイルスによる感染症**の1つです。幼少期に水ぼうそうへ感染後、ウイルスは体内の背骨にある神経節に潜伏します。免疫力が弱まったスキ（加齢、ストレス、病気）をついて再活性化します。

带状疱疹は、潜伏先近くの神経、その後、皮膚で暴れるのが特徴です。そのため、初めは痒み・痛み・刺されたような感覚などの神経症状が出現し、同日から2週間後には、皮疹（赤いぶつぶつの後、水疱へ）が現れます。

治療は、**抗ウイルス剤の内服治療**が可能です。多くの場合、皮膚症状の改善とともに痛みも治まりますが、痛みが続く場合「带状疱疹後神経痛」に移行することがあります。また、目に感染が及ぶと失明のリスクも伴いますので注意が必要です。皮疹が出る前の早めの気づきと、疑わしい時は、早めに皮膚科を受診することが大切です。

予防として「带状疱疹ワクチン」の接種も可能です。2025年4月からは、65歳以上の方などを対象に定期接種を実施しています。また、健康保険組合や自治体によっては、任意接種の補助もありますので、ご確認ください。

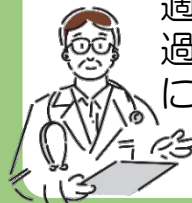
*ご参考：厚生労働省 [带状疱疹ワクチンの定期接種を開始します](#)

Q&A

ワクチン以外で、带状疱疹をなるべく発症させないための方法がありますか？



免疫力を保つという意味では、適切な睡眠・栄養をとり、過労を避けて、ストレスを過度にためないことも大切です。



健診・保健指導などの健康情報はこちら

日立健康管理センタ HP

<https://www.hitachi.co.jp/hospital/nikkense/>



人間ドックは『日立健康管理センタ』
をご利用ください

次回は 9月初旬頃に記事をお届けします